

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査データを使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	がん病態栄養専門管理栄養士による栄養管理前後のがん緩和ケア患者の栄養状態の変化について
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 栄養部 (職名) 管理栄養士 (氏名) 井上 可奈子
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026 年 3 月 31 日
対象となる方	2018 年 4 月から 2020 年 3 月までの期間に、愛媛大学医学部附属病院に入院され、緩和ケアチームが介入したがん患者さんのうち、がん病態栄養専門管理栄養士が介入を行ったがん患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、病名、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、治療状況、食事歴、食事(栄養)摂取量、栄養食事指導記録 等 (利用する試料) なし
研究の概要 (目的・方法)	1. 背景 緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげることで、がん患者さんとその家族さんが、可能な限り質の高い治療・療養生活を送れるように、身体的症状の緩和や精神心理的な問題などへの援助が、終末期だけでなく、がんと診断された時からがん治療と同時に行われることが求められています。 当院には、各分野の専門の医療スタッフで構成された緩和ケアチームがあり、患者さんのがんに伴う痛みなどのいろいろな苦痛を取り除き、充実した生活ができるように支援することを目標に活動しています。

	<p>がん患者さんにおいては、疾病そのものや治療による影響、精神的な苦痛など、いくつかの原因が相まって、しばしば栄養管理が困難な状態となるため、チームにはがんの栄養療法に関する専門的知識を有する管理栄養士（がん病態栄養専門管理栄養士）が一員となって支援しています。</p> <p>しかしながら、緩和ケアチームの一員として、がん病態栄養専門管理栄養士が栄養管理を行うことが、がん患者さんの栄養摂取量や栄養状態に及ぼす影響についてはまだ十分に明らかとなっていません。</p> <p>2. 目的</p> <p>そこで、本研究では、緩和ケアチームの一員としてがん病態栄養専門管理栄養士が栄養管理を行うことが、栄養摂取量や血液生化学検査等にどのような変化を及ぼすのか検討することを目的に実施します。</p> <p>3. 方法</p> <p>がん病態栄養専門管理栄養士が介入する前と後のエネルギーならびに主要栄養素摂取量、血液検査データ、身体計測値等を用いて、介入前後の変化を比較します。また、これらに関連性があるか、統計解析ソフトを用いて検討します。</p>
個人情報保護 について	<p>この研究で収集される情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 栄養部 井上可奈子 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5207